

内、入院者	2	1					1	1	1				0.5
-------	---	---	--	--	--	--	---	---	---	--	--	--	-----

出身地別内訳（令和3年3月末現在）

計 20 名 【県内】 盛岡市 4 人、滝沢市 10 人、花巻市 1 人、岩泉町 1 人、陸前高田 1 人、宮古市 1 人
【県外】 八戸市 1 人 仙台市 1 人

(2) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
未認定	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
要支援 1	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	93	63.4
要支援 2	180	186	180	186	186	180	186	180	200	186	168	186	183.7
要介護 1	180	186	180	186	186	180	186	180	186	217	196	186	187.4
要介護 2	90	93	90	93	93	90	93	75	62	62	56	62	79.9
要介護 3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	60.8
計	600	620	600	620	620	600	620	585	603	620	560	620	605.7
平均介護度	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1

(3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居									1	1			2
退居								1	1				2
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						
	死亡					1	84.3 歳						
	長期入院						男女別	男	73.8 歳				
	他施設					1		女	87.0 歳				
	家庭復帰						(入居待機者)						
	その他						6 人						
合計						2							

(4) 提供サービス充実への取り組み

入居者様の日常生活を活気あるものとするべく、特に健康管理への取り組みに重点をおいて実施した。具体的には、6つの基本サービス... 食事の提供 入浴の準備 緊急時の対応 各種生活相談 通院援助 娯楽行事等の実施...をより充実したものにすため、次の事項を実施した。

(主なもの)

食事の提供

嗜好アンケートを行い、これを参考に日常の献立に反映させる。(年2回)

○行事や季節パーティー終了後にもアンケートを行い、次の行事に反映させた。(年2回)

行事食等の実施、季節パーティー(屋台村、クリスマス会の年2回)

入浴の準備

○毎週5日の入浴日を実施。

緊急時の対応

入居者様の自室からのコールに職員が24時間対応。

随時、職員が病院等へ送迎(無料)。

健康相談・各種生活相談

介護職員による毎月1回の体重測定、血圧測定、体調の相談

介護を必要とする方に自立支援のためのケアコーディネイト

通院援助

近隣の医療機関への送迎(総人数676人、月平均56.3人)

娯楽行事等の実施

毎週1回の小売店等へのショッピング

(年間行事)

実施月	行事名	内容
4月	【一般】 マスク作り	コロナウイルス感染予防のため、手づくりマスクを職員と一緒に作成する。
	【一般・介護付】 お花見ドライブ	ドライブを兼ねて、高松の池の周りを車で回る。入居者様は車から降りず、車窓から桜を見られる。
5月	【一般・介護付】 ケアハウス菓子20周年記念式典	感染拡大防止の為に外部の来賓をお断りさせていただきましたが、ケアハウスの歴史を職員、入居者様と懐かしむことができた。スライド画像を見ながら施設長が20年の歴史を説明する。その後、記念品を贈呈。
	【一般】 レクリエーション「キックベース」	外出の機会が少なくなっているため、体を動かす機会を作る。段ボールを横に置き、ボールを蹴って入れた点数を競う。
6月	【一般】バーベキュー	外にテントを張り、肉や魚介類を焼き、入居者様に提供。
	【介護付】わくわくクッキング	入居者様と一緒に、白玉おしるこ作りを行う。
7月	【一般】七夕会	入居者様と七夕の飾り、短冊を作り笹に飾りながら、デザートを召し上がる。
	【一般・介護付】 ケアハウス GoGo 屋台村 2020	納涼会の代わりとして、職員が屋台を出し、1,2号館の方合同で夏祭り気分を味わっていただく。施設内での開催となったが、自粛ムードの中で入居者様にお祭り気分を味わっていただくことができた。
8月	【一般】 さんさ踊り	いわてさんさの会 加藤家3名で、入居者様にさんさ踊りを披露する。
	【一般】 映画鑑賞会	希望者におやつや飲み物などを提供しながらスクリーンにて「釣りバカ日誌」を鑑賞していただく。
	【介護付】映画観賞会	「男はつらいよ」を上映する。
9月	【一般・介護付】 年祝い者の記念撮影会	感染予防対策の為に一同に集まる行事は行わずお祝いの対象者に表彰状と記念品を贈呈し、職員との記念写真を本人、ご家族へもプレゼントし喜んでいただく。
10月	【一般・介護付】 紅葉ドライブ	行き先は雫石方面、四十四田、松園、県立大学等紅葉の見頃の場所を選んだ。感染対策として車窓での紅葉ドライブとなったが久しぶりの外出の方もおり良い気分転換になった様子でした。
	【一般・介護付】 寿司出前行事	例年は11月の寿司の日には三寿司の職人に握ってもらい食べていたが、今年は感染対策で出前を取って食べて頂いた。「バイキング形式と違い一人ずつの桶だったので落ち着いてゆっくり味わうことができた。」と好評でした。
11月	【介護付】クッキング行事	薄焼き、芋の子汁と月に2回行った。男性の方も率先して焼いてくれて、おやつに丁度良いと好評でした。芋の子汁は出来上がるまでカラオケを楽しみながら待ち、出来上がった芋の子汁をお代わりしながら召し上がっていました。

12月	【一般・介護付】 クリスマス大忘年会	今年は密集しないよう日時を変えてそれぞれの食堂で開催しました。個人でデコレートしたケーキを食べながら職員出演しているDVDを鑑賞していただき楽しんでもらいました。最後にクリスマスプレゼント抽選会を行い全員にお渡ししています。
1月	【一般・介護付】新年会	今年は密にならないよう余興は中止し、それぞれの食堂で新年お祝い膳を提供しました。正月らしい豪華な食事で皆様喜ばれ召し上がっていました。
2月	【一般・介護付】節分行事	職員が鬼役となり、鬼に向かって丸めた新聞紙を投げ、笑い声も聞かれ皆様楽しめました。
3月	ひな祭り行事	ひな祭りについてのクイズや、甘酒・お菓子を召し上がり楽しめました。
	【介護付】わくわくクッキング	入居者様と職員と一緒に、桜もち作りを行い楽しめました。

【その他の行事】

ショッピング（週1回）、誕生会（月1回）、懇談会（月1回）、カラオケの日（月1回だが新型コロナの為4～6月は実施したが7月から中止）

（5）地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内容
6月	滝沢第二中学校	滝沢第二中学校生徒会代表の生徒3名が、紙マスクを持参し、入居者様にお渡しする。
	巣子保育園	園児たちが飾り付けをした笹を贈呈いただく。ケアハウス内に飾り、入居者様に楽しんでいただいた。
8月	いわてさんさの会 加藤家	入居者様にさんさ踊りを披露。一緒に踊って楽しんでいただく（3名）
	滝沢東小学校	4年生の生徒に、福祉の仕事について介護主任が講義
12月	岩手県子ども会育成連合会	福祉ボランティアジュニアリーダーへの講師派遣（藤崎施設長）風船オブジェ贈呈。サンタの風前オブジェに入居者様が喜ばれていた。
1月	南巣子保育園	園児たちが作ったみずき団子を贈呈いただきケアハウス内に飾り入居者様に楽しんで頂く。
		新年のDVD贈呈。園児たちからの励みのメッセージやお遊戯を上映し、入居者様の皆様は感動して涙される方もおられました。
2月	滝沢第二中学校	滝沢第二中学校の生徒より、図書カードを贈呈していただく。ケアハウスからは入居者様が作成した雑巾を贈呈させていただく。

（6）研修報告

施設内共通研修（ケアハウス、介護付、居宅、訪問、通所）

実施月	研修名	参加人数
4月	新任職員オリエンテーション 担当：介護付 菊池主任	1名
5月	高齢者のあれこれについて 担当：介護付 高橋看護師	10名
	福祉職員の接遇マナー 担当：介護付 菊池主任	14名

6月	腰痛予防について	担当：介護付 田村機能訓練士	11名
	認知症ケア	担当：居宅 葦澤介護支援専門員	15名
	食中毒について	担当：管理栄養士 尾崎	
8月	身体拘束・高齢者虐待防止について	担当：介護付 宮城看護師	17名
10月	新型コロナウイルス感染症対応	担当：介護付 高橋看護職員	6名
11月	人事考課研修（管理者研修）	講師：藤崎施設長	5名
1月	福祉職員キャリアパスチームリーダー編報告会	担当：通所 小野寺生活相談員	11名
2月	職業倫理と法令順守について	担当：介護付 井上主任 居宅 大沢主任	10名
	交通安全研修	担当：介護付 井上主任	13名
3月	腰痛予防研修	担当：介護付 田村機能訓練士	8名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
10月	令和2年度介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導（介護付）	盛岡広域振興局	1名
	メンタルヘルス研修（管理者編）（介護付）	岩手県社会福祉事業団	1名
	新型コロナウイルス感染症対策セミナー（介護付）	岩手県社会福祉協議会	1名
11月	福祉サービス苦情解決情報交換会（介護付）	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1名
12月	これからの介護保険 区別する認知症・差別しない認知症 職業倫理と法令遵守、個人情報保護法（介護付）	株式会社サンメディカル	1名
10～1月	令和2年度岩手県高齢者権利擁護推進員養成研修（介護付）	いきいき岩手支援財団	1名
1月	安全運転管理者等講習（介護付）	岩手県自家用自動車協会	1名
3月	令和3年度介護報酬改に係る研修会（介護付）	岩手県介護支援専門員協会	1名

【第2種社会福祉事業】

・松実会指定訪問介護事業所

【事業目標に対する評価】

事業目標	事業方針	評価
利用者様が、可能な限り自宅において自立した日常生活を継続できるよう、訪問介護サービス・生活総合事業の訪問介護型サービスでの支援を図り、必要とされる事業所を目指す。	介護計画に沿った支援を行う中で、利用者様及びご家族の心身の状態変化がみられる場合はサービスに関わる介護支援専門員をはじめ各サービス担当者と連携を図り、介護計画見直しの検討を行う。	利用者様、ご家族に状態変化が見られた場合は、その都度各サービス関係機関への情報提供を密に行い、連携を図ることができました。
	内外の研修等を通じ、専門知識・技術の研鑽に努めサービス提供にあたる。	コロナ禍の為研修実施が予定通りに行えない部分もありましたが、実施できた研修には積極的に参加し、専門的知識の習得や技術の向上に努めました。
	利用者様の意見や苦情等を真摯に受け止めサービスの改善に努める。	利用者様からの苦情やご意見に対し、早期対応に努め、サービス改善に努めました。

	訪問時の事故（移動時の車の運転も含む）防止、に細心の注意を払い、安全にサービスの提供を行う。	常に利用者様個々の状況を把握し、安全なサービス提供を心掛け大きな事故もなく安全にサービス提供することが出来ました。
	利用者様の心身の機能、環境状況等を把握し、利用者様の所在する市町村、地域包括支援センター、他の居宅サービス事業者、保健医療サービスおよび福祉サービスを提供する者との連携に努める。	利用者様の状態把握をすると共に、自宅での生活が継続できるように各種サービス関係機関と情報の共有し連携に努めました。

（１）訪問介護目標への取り組み

目標達成に向けて取り組んだが、身体介護サービス利用者の施設入所及び入院などが多く、目標には届かない結果となる。全体のサービスに占める割合は収益の高い身体介護サービスが27%で収益性のない生活支援及び総合サービスが66%であった。

今後は事業継続と収益性を高めるために身体介護サービスと生活支援サービスの比率を近づけるようにサービス提供していく必要がある。

期中実績 期中1ヵ月平均利用者訪問実人数 ... 44.0人/月（前年度実績 47.2人/月）

利用状況 訪問介護事業

介護・総合事業サービス内訳（件）

要介護		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体	30分以上～ 1時間未満	75	81	76	82	99	75	75	86	87	85	80	82	983
	1時間以上	17	16	16	15	11	13	14	9	10	12	13	10	156
生活	20分以上～ 45分未満	8	9	8	8	9	9	8	4					63
	45分以上	189	170	168	182	163	179	168	161	167	129	119	122	1917

身体 27% 生活 48%

要介護		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
身体生活	30分以上～ 1時間未満													
	1時間以上	17	33	36	33	34	21	18	16	26	23	23	15	295

身体生活 7%

要支援	訪問型サービス費						短時間
	（週1回程度）	（週2回程度）	（週2回を超える程度）	（月4回まで）	（月5～8回程度）	（月9～12回）	
延べ利用者数	21	45	14	64	40	13	
延べ利用回数	21	45	14	236	284	149	

総合 18% 延べ利用者 197人 延べ回数 749回

（２）活動の基本方針

目標達成に向けて次の方針に基づき活動した。

介護サービスの提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者様、ご家族にサービスの提供方法等について理解を得られるよう説明を行う。

介護支援専門員に対して利用者様の状況等の情報を提供する。
 事業所内でも年間を通して研修を行い、介護技術の向上を図る。
 地域内及び近隣市町村の訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者との連絡、交流を緊密に図る。

(3) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

訪問事業所内全体研修

実施月	研修名	参加人数
5月	健康管理・福祉職員接遇マナー	4名
6月	腰痛予防	4名
	食中毒と予防について	3名
	認知症ケア	3名
8月	身体拘束・高齢者虐待防止について	1名
9月	感染症対策について	1名
1月	事業所職員向け感染症対策力向上のための研修	3名
2月	新任研修	1名

訪問事業所内個人研修

グループ区分	研修期間	研修課題	参加人数
グループA	7/1～8/31	介護手順マニュアル作成	2名
グループB・C	7/25～8/17	リスクマネジメント研修	7名
グループB・C	2/15～2/28	訪問介護サービス手順書作成	5名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
10月	感染症対策（新型コロナウイルスについて）	ケアハウス巣子	1名
	令和2年度介護保険サービス事業者及び有料老人ホーム集団指導	盛岡広域振興局	1名
11月	令和2年度管理者向け労働環境整備のための処遇改善加算セミナー	岩手県保健福祉部長寿社会課	1名
12月	これからの介護保険 区別する認知症、差別しない認知症 職業倫理と法令順守 個人情報保護法	株式会社サンメディカル	1名
	令和3年度介護報酬改定の詳細と事前対策	NDソフトウェア株式会社	2名

・松実会指定通所介護事業所

【事業目標に対する評価】

事業目標	事業方針	評価
住み慣れた地域で生活が継続できるように、より身近にサービスを提供します。	利用者様の在宅における自立と身体の機能維持を通所介護計画に基づいて目指していく。	機能訓練の内容を日常生活訓練から筋力向上訓練に変更し身体機能維持に努めた。結果、ほとんどの方のADLの低下を予防することができました。
	利用者様が安心してサービスが継続できるようにご家族、地域、関係機関と定期の運営推進会議を開催し、情報を共有しながら連携を図	コロナ渦のため、感染予防として年2回の運営推進会議を书面開催した。来期は感染予防対策を徹底し通常通りの開催を目指していきま

	り、より地域性を構築していく。	す。
	事業所の従業者はサービスの提供に当たり、懇切丁寧に行う事を旨とし、利用者様およびご家族に対しサービスの提供方法等について、理解しやすいように説明及び同意をえる。	サービスの提供に先立って利用者様毎のニーズを汲み取り、丁寧かつ適切なサービス提供をすることができました。また、ご家族に対してサービス内容を書面で説明し同意を得て、日々の送迎時に利用状況をお伝えたりするなど、できる限りわかりやすい情報提供ができるよう心掛けました。

(1) 通所介護目標への取り組み

期中の目標通所利用者を1日平均10人に設定して活動しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、1月に2日間休業した。また、利用者様の体調や県外在住の方との接触等で利用日の変更などで利用回数が減少し、前年度と比べると0.6人減の一日平均が8.0名となりました。

期中実績 期中実績 期中1日平均通所利用者人数 ... 8.0人(前年度実績 8.6人/日)
 期中1ヵ月平均通所利用者延人数 ... 171.3人(前年度実績 183.3人/月)

利用状況 通所介護事業
 サービス全体

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	21	22	23	21	22	22	21	21	20	20	23	21.5
要支援1	9	9	10	13	11	8	8	8	8	6	7	8	8.8
要支援2	24	24	19	21	18	20	20	16	17	15	19	22	19.6
要介護1	33	31	32	34	33	34	33	30	34	29	36	28	32.3
要介護2	74	66	73	71	69	75	76	70	77	62	65	79	71.4
要介護3	41	37	37	52	42	45	50	34	37	23	22	18	36.5
要介護4										7	8	13	2.3
要介護5										2	2	2	0.5
利用者実人数										24	26	25	25.2
利用者延人数	181	167	171	191	173	182	187	158	173	144	159	170	171.3
1日平均	8.2	8.0	7.8	8.3	8.2	8.3	8.5	7.5	8.2	7.2	8.0	7.4	8.0

(2) 活動の基本方針

目標達成に向けて次の方針に基づき活動した。

介護サービスの提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者様、ご家族にサービスの提供方法等について理解を得られるよう説明を行う。

ケアプランナーに対して利用者様の状況等情報を還元する。

通所介護職員全員による接遇対応の学習会を行い、介護技術等の向上を図る。

地域内、近隣市町村の通所介護事業者及び居宅介護支援事業者との連絡、交流を緊密に図る。

(年間行事)

実施月	行事名	行事内容
4月	お花見ドライブ	外出機能訓練の一環としてお花見を行いました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、車内より桜を観覧していただきました。

5月	運動会	紅白の組に分かれ、5種目のレクリエーションを行い点数を競い合いました。
7月	ケアハウス GOGO 屋台村	ケアハウス行事である屋台村に参加させて頂き、焼きそばやフランクフルトなど、屋台で購入されたものを昼食時にお召し上がりいただきました。
8月	枝豆収穫祭	ケアハウス敷地内の畑で採れた枝豆を利用者様に収穫していただき、おやつ前にお召し上がりいただきました。
9月	歳祝い者の記念撮影会	感染予防対策の為に一堂に集まる行事は行わずお祝いの対象者に記念状とメッセージカードをお贈りし、写真を撮影した。また、ご利用者様全員に記念品の贈呈をした。
11月	焼き芋作り	秋の味覚を味わい、季節を感じて頂くため室内にて焼き芋を作った。利用者様にはさつま芋を洗っていただき盛り付けを手伝っていただいた。
12月	クリスマス忘年会	利用者様にクリスマスツリーの飾り付けをしていただき、お菓子や飲み物を食べながら一年を振り返ったり、歌を聞いたりした。
3月	避難訓練	地震を想定した避難訓練を介護付ケアハウス巣子と共同で行い迅速・安全に非難することができました。地震の放送があったからすぐに利用者の皆様は毛布をかぶったり頭を隠す仕草をしたりしていました。

【その他の行事】

各月で誕生会の実施

(3) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
6、2月	地域包括支援センター・町内会長・老人クラブ会長・利用者ご家族代表	コロナ禍の為、運営推進会議の開催を书面開催とさせて頂きました。

(4) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
9月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダー編	岩手県社会福祉事業団	1名
10月	メンタルヘルス研修【セルフケア】	岩手県社会福祉事業団	1名
	令和2年度介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導	盛岡広域振興局	1名
12月	これからの介護保険、区別する認知症・差別しない認知症、職業倫理と法令遵守、個人情報保護法	株式会社サンメディカル	1名

【公益事業】

・介護付ケアハウス巣子事業（特定施設入居者生活介護）

(1) 事業目標/方針

事業目標	事業方針	評価
特定施設サービス計画に基	入居者様の意思を確認し、機	個別機能訓練計画に基づき、

づき、入居者様各々の個別ニーズを把握し、その方らしくやすらぎのもてる安心した生活が維持できるよう支援致します。	能訓練を実施して残存機能の維持・向上に努めます。	訓練を行い、身体機能の維持、向上に向け取り組みました。
	入居者様のニーズに寄り添った行事・レクリエーションを企画して、日常生活の中に楽しみ生きがいを持って頂けるように努めます。	コロナ禍でカラオケ自粛や行事縮小にて入居の方々には、ご不便をおかけしましたが、創意工夫を行い、縮小しながらも行事の開催やマウスシールドを活用しながらカラオケ行事等に取り組みました。
	関係市町村、他の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます。	感染症予防対策を執りながら関係機関との情報交換を図り、必要な情報を利用者様に懇談会で説明しながら施設サービスの提供に努めました。

(2) 入居者の推移 (各月初め利用者数)

入居者定員数 (30名)

年度末に入院者や退居者もあり実績の変動はありましたが、退院時には必ず抗原検査や PCR 検査を行い、コロナウイルスを持ち込まないように感染対策に取り組むことができました。

入居者の推移 (各月初め利用者数) 介護付ケアハウス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.1
女	23	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23.7
計	30	30	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29.9
内、入院者		1		1					1		3	2	0.6

出身地別内訳 (令和3年3月末現在)

計 28 人【県内】計 27 人 盛岡市 6 人、滝沢市 12 人、八幡平市 3 人、宮古市 4 人、岩手町 1 人、一関市 1 人
【県外】計 1 人 八戸市 1 人

(3) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護 1	300	310	270	310	310	300	310	300	310	310	280	310	301.6
要介護 2	360	372	360	372	372	360	372	405	434	458	364	406	386.2
要介護 3	180	186	210	186	186	180	155	120	114	100	84	93	149.5
要介護 4	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	112	90	67.8
要介護 5							31	6					3.0
計	900	930	900	930	930	900	930	891	920	930	840	899	906.9
平均介護度	2.0	2.0	2.1	2.0	2.0	2.0	2.1	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0

(4) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計			1					1		1		1	4
退居計		1						1	1			2	5
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						
	死亡			1		1	89.2 歳						
	長期入院		男	1	女		男女別	男	85.3 歳				

	他施設		1		1	女	90.2 歳
	家庭復帰					(入所待機者)	
	その他					12 人	
	合計		3		2		

(5) 提供サービス充実への取り組み

介護サービス内容について、利用者満足度調査を早期に実施することで、サービス内容の見直しを図り、利用者様のニーズに添えるサービス内容を提供する事が出来ました。

事業から生じた剰余金は、社会福祉事業へ 12,000,000 円の繰入を行った。

・松実会指定居宅介護支援事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
利用者様、ご家族の在宅における生活意向を考慮したケアプランを作成する。	<p>利用者様に対し、個々の解決すべき課題、その心身の状況や置かれている環境等に応じて、保健・医療・福祉にわたる指定居宅サービス等が、多様なサービス提供主体により、総合的かつ効率的に提供されるよう努める。</p> <p>利用者様からの相談、依頼があった場合には、利用者自身の立場に立ち、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、利用者や家族の意向をもとに地域力も考慮したケアプランの原案を作成する。</p> <p>利用者様及びご家族自らの選択に基づき、適切な保健・医療・福祉サービスが提供されるよう努め、利用者様本位、公正中立な立場での業務を実施する。</p>	<p>目標を意識して、アセスメントの上、利用者様・ご家族の意向を考慮したケアプランの作成を実施した。サービスの選択及び推薦に際しては、公正中立な立場での業務を実施し、医療との連携にも積極的に取り組むことができた。</p> <p>地域包括ケアシステムを意識し、地域力を考慮したケアプランの作成に努めた。今後も地域の社会資源把握に取り組みながら地域との連携に努める必要があると思われる。</p>
ケアマネジメントの質の向上を図る。	<p>計画的に外部・内部の研修に参加し知識・技術の習得を行う。</p> <p>苦情・要望等には苦情窓口を設け事実確認、改善の検討を行い、ケアマネジメントの質の向上に努める。</p> <p>主任ケアマネとして、当事業所だけでなく、地域のケアマネの人材育成に協力する。</p> <p>24 時間連絡体制を確保し、必要に応じて利用者などからの相談に対応する。</p>	<p>外部・内部の研修に積極的に参加し、知識・技術の向上に努めた。</p> <p>苦情があった場合は、速やかに対応するとともに、事業所内でも会議をもち、改善策を検討した。</p> <p>地域の介護支援専門員に対して、勉強会を主催した。</p> <p>当番制で携帯を持ち、24 時間連絡がとれる体制をとった。</p>
市からの委託事業を行い、地域に貢献する事が出来る。	<p>滝沢市内在住の高齢者の心身状況や家庭環境について実態を把握し、潜在的な問題、ニーズ等を把握し、介護予防の対応に努める。</p>	<p>ブランチ事業で、滝沢市内にお住まいの高齢者の状況、ニーズや問題を把握するとともに、地域包括支援センターと連携し、必要な支援を</p>

	<p>介護相談を随時、受け「地域包括支援センター」との連携を図る。</p> <p>家族介護者教室を開催し、介護方法や介護保険サービス等について学ぶ機会を提供する。</p> <p>認定調査や介護予防支援事業を行うとともに、順次移行する事業へ対応し、地域包括ケアシステムの構築へ貢献する。</p>	<p>行うよう努めた。</p> <p>家族介護者教室では、地域の皆様から参加していただき、勉強になったと好評をいただいた。</p> <p>他の委託事業として、介護予防支援、認定調査を行った。</p>
--	--	---

(1) ケアプラン作成目標への取り組み

期中のケアプラン作成目標件数を1ヵ月198件に設定し、これに取り組んだ結果、目標には達している(月平均203件)。

利用状況 居宅介護支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ケアプラン作成件数	192	196	198	203	206	212	212	212	208	198	203	205	203
新規	8	7	5	7	7	7	5	5	5	3	6	6	6
中止	4	3	3	2	2		5	2	6	11	3	5	4
終了	2	7	1	1	4	4	6	4	4	4	3	3	4
実態把握	44	39	36	37	34	35	35	36	41	32	32	30	36
認定調査	1	5	1	1	3	2	2	6	3	6	6		3
平均介護度	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

(2) ケアプラン作成の基本方針

ケアプラン作成に当たっては、「その利用者が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づき、利用者及び家族の要望を尊重して作成した。

(3) 家族介護教室の開催

滝沢市住民で介護保険を利用している利用者や家族、地区の民生児童委員にも出席していただき、在宅での介護に役立つ講話、実演を中心に、葉の木沢活動センターを会場として講習会を開催した。コロナ感染予防の観点からの会場変更により、ケアハウスからの参加がなく、例年よりやや少ない参加人数であったが、参加者からは好評をいただいた。

「腰痛予防と生活習慣～腰痛とうまくつきあうコツ～」 令和2年9月5日(土) 13名参加
 会場：葉の木沢活動センター
 講師：ケアハウス巣子 作業療法士 田村 真耶

(4) 要介護高齢者実態把握事業(滝沢市委託事業)

滝沢市内の在宅の高齢者の心身状況や家庭環境について実態を把握し、潜在的問題、ニーズ等を把握し介護予防的な対応や未然防止に努めた。

北部、東部地区の範囲で65歳以上の高齢者世帯を累計431件(月平均36件)調査した。

(5) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
7月	認知症の本人と進めるまちづくり	岩手県立大学地域共同研究	3名
8月	地域包括支援センター職員初任者研修	いきいき岩手支援財団	1名
9月	岩手県主任介護支援専門員研修	岩手県いきいき支援財団	1名
10月	岩手県主任介護支援専門員研修		
11月	岩手県主任介護支援専門員研修		
12月	これからの介護保険、区別する認知症・差別しない認知症、職業倫理と法令遵守、個人情報保護法	株式会社サンメディカル	1名
1月	介護予防支援・予防ケアプロジェクトに関わる研修	滝沢市地域包括支援センター	1名
2月	新型コロナウイルスにおける濃厚接触者への対応	滝沢市高齢者支援課	1名
	在宅医療人材育成研修	岩手県ケアマネ協会	3名
3月	介護報酬改定に係る研修	岩手県ケアマネ協会	3名

【特別養護老人ホーム麗峰苑拠点区分】

【第1種社会福祉事業】

・特別養護老人ホーム麗峰苑事業

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	実績・評価
入居者様一人ひとりの個性や生活リズムを尊重したケアを目指します。	入居者様の心の痛み、心の満足という感情に寄り添ったケアの実現を目指します。	各ユニット公約を掲げて、スピーチロックなどの防止に努めた事で、態度や声掛けなど業務の中で意識して取り組むことが出来ました。
	入居者様の出来る事・やりたい事を「24時間シート」に位置づけ、継続性を重視したサービスの提供に配慮する事を心がけ、実践する事で「望む暮らし」から「その人らしい生き方」の実現を目指します。	定期的なカンファレンスの開催やユニット会議を開催する事で、24時間シートの見直しを定期的に出た。また、感染症対策をしながら、ご自宅に一時帰宅も実施する事ができました。
	入居者様一人ひとりのニーズと意思を尊重し、残存機能の活用を図り自律的な生活の機会を得られるように努めます。	機能訓練指導員の指導や他部署間との連携が良好に図られ、ご利用者の意欲も感じられる機会がユニット行事開催の際に顕著にみられた事は目標が達成できました。
	上記の から を形にする為に、「おもいやり食堂」の開店を目指します。（入居者様がご家族にカレーを手作りして食べて頂く）	ご利用者が意欲的にカレーをつくる事が出来ましたが、感染症対策でご家族を呼んで一緒に食べる事が出来なく、残念でした。
地域福祉・地域活動に積極的に関わりを持ちます。	積極的に保育園・小学校・中学校・高校等の発表の場や体験の場を目指します。	感染症予防の観点から、小学校来苑の行事が実現できなかった事は双方にとって、残念な結果となった。今後、工夫をしていきたいです。

	認知症カフェ実施の継続に生活リハビリを取り入れ、地域で暮らし続ける為のサポート体制としてのカフェを目指します。	カフェが定着しつつありましたが、新型コロナ感染防止の為、休止いたしました。
	ゲートボール場の地域への開放及び麗峰苑杯の開催を実施します。	新型コロナ感染症対策の為、大会を中止致しました。
職場の働きやすさと働き甲斐を追求した職場環境の確立を目指します	職員研修の内容の充実とキャリアパス体制の実践を図り、介護プリセプター制度導入により、職員の離職防止に努めます。	介護職員の離職者が居なかった事は、成果が出ていると思われます。また、外部研修に2名参加し、制度内容や他施設の取り組みなどを聞くことが出来、今後活かしていきます。
	職業性ストレスチェック制度の実施を図り、高ストレス者の産業医面談の実施を図るなどし、職員が安心して働ける施設環境に努めます。	高ストレス者との面談の機会を増やし、治療しながら就労継続する事が出来ております。衛生委員会の中で勉強会をする事で知識が得られることは、視野も広がりセルフコントロールの仕方の学びの機会になっていると思われます。
	介護ロボット導入により、充実した活用の実施を図り職員の不安やストレスの軽減を図ります。	介護ロボットにも慣れてきたためケアアセスメントが出来、ケアに繋げる事ができてきています。
	働き方改革による、年次休暇について職員の理解と協力の下、公平・確実に取得の実施を図ります。	全職員 6 日間以上の年次休暇を取得する事ができました。
各委託事業を推進し地域に貢献する事を目指します。	八幡平市「介護支援ボランティアポイント事業」の促進を図り、地域住民の介護予防を支援します。	新型コロナ感染症防止の為、受け入れませんでしたので、実績はございません。
	日建学院「介護福祉士（通信コース）実務者研修のスクーリング実施会場の指定を受けた事に伴う、会場や講師の協力体制を致します。	新型コロナ感染症防止の為、受け入れませんでした。会場を他の施設に依頼し、講師として出向き協力致しました。
	成年後見制度の利用促進を図る為、名称「盛岡北部法人後見人体制」の推進に努めます。	八幡平市 1 件の実績で{他施設}、まだまだ制度の周知が成されていないものと感じました。

(1) 入居者の確保への取り組み

入居者定員数（60名）の維持確保に取り組んだ結果、月平均 59.9 名の実績を得た。

入居者の推移（各月初め入居者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	16	16	16	17	17	17	18	18	18	18	18	18	17.3
女	44	44	44	43	43	43	42	42	41	42	42	42	42.7
計	60	60	60	60	60	60	60	60	59	60	60	60	59.9
内、入院者	5	1	2	2	2	4	5	2	5	5	1		2.8

出身地別内訳（令和3年3月末現在）

計60人 盛岡市4人、岩手町12人、八幡平市38人、滝沢市4人、二戸市1人、一戸町1人

（2）入居者の要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護3	180	217	210	217	217	210	217	230	232	279	224	248	224
要介護4	690	682	660	680	682	660	745	720	767	775	758	868	724
要介護5	930	961	930	961	961	926	922	848	746	721	672	744	874
計	1,800	1,860	1,800	1,858	1,860	1,796	1,884	1,798	1,745	1,769	1,654	1,838	1,823
平均介護度	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4

（3）入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計			1	1		1	4	1	2		1		11
退居計			1	1		1	4	2	1		1		11
備考	(退居内訳)					(平均年齢)							
	死亡		2		3			88.1歳					
	長期入院		1		5			男女別	男		85.1歳		
	他施設								女		89.4歳		
	家庭復帰							(入居待機者)					
	その他							33人					
	合計		3		8								

（4）提供サービス充実への取り組み

入居者様が「生活の場」として快適に住める家庭的な環境づくり目指し、施設理念を基にユニットケア 食事 入浴 排泄を重点的に継続して取り組みました。

具体的にはサービス向上委員会を軸とした組織作りを目指し、入居者様アンケート（年2回：聞き取り） 家族様アンケート（年2回：ハガキ） 職員自己評価（年1回）を実施し、アンケートの結果をサービス内容に反映させる仕組みづくりを目指しました。

新型コロナウイルス感染症予防対策の中でも工夫をしながら、サービス提供をする事が出来ました。

結果、インフルエンザ感染症や風邪等の感染症もなく1年を終える事が出来ました。

（年間行事）

実施月	行事名	内容
4月	麗峰苑大学入学式	顔写真入りの学生証を発行し、入学式を実施しました。
5月	たんぼぼ農園開園式	施設農園で野菜を育てる楽しみを感じていただく
	授業「体育」	「365歩のマーチ」「あんたがたどこさ」の歌に合わせて体を動かし、脳刺激から認知症予防体操を取り入れました。
6月	回想法	「写真で見る稲作り今昔」入居者様に働きかける事により認知症予防対策をしました。
7月	たんぼぼ縁日	例年の夏祭りを中止し、利用者・職員で縁日を開催しました。
8月	調理実習 「入居者様が作ったカレーをみんなで食べよう」	入居者様が食材を切る、炒める、煮る、味付けなどの一連の流れをする事で機能訓練となり、誰かに食べてもらう事で喜びとなる。
	スイカ割大会	正面玄関前で、スイカに見立てたビーチボールを割り、農園で育てらスイカをみんなで食べました。
9月	長寿を祝う会	ご長寿を入居者様・職員みなでお祝いをしました。記念撮影も行

	(56名参加)	い、喜ばれました。(コロナ対策もしっかり行い)
10月	焼き芋	農園で収穫したサツマイモを屋台風にして各ユニットを回り収穫の喜びと一緒に味わいました。
	大地みのりの会 (52名参加)	農園の収穫の喜びを感じ味わっていただきました。また、スポーツレクを実施。
11月	出張出前寿司 (40名参加)	「寿司の日」に合わせて調理師さんの握り寿司で寿司屋さんの気分を味わいました。
	縄縄え大会	腕自慢の縄縄え、ご入居者参加で縄縄えを実施しました。職員が思った以上に盛り上がりました。
12月	麗峰苑大忘年会 (53名参加)	一年のユニット毎のDVD作成し上映会をしました。職員の余興で楽しんでいただきました。
	クリスマス会 (52名参加)	クリスマスケーキを頂きながら、皆さんで楽しい時間を過ごしました。
	餅つき大会 (29名参加)	昔ながらの風習を楽しみ、お正月を迎える喜びを感じてもらいました。
	職員感謝祭(26名)	一年間の職員の頑張りに感謝状を授与し労をねぎらいました。 (例)ヒヤリハット報告が一番で賞 (例)感染防止対策を頑張で賞 など
1月	みずき団子作り	ミズキ団子を作成し、参加者全員で記念撮影をしました。
	新年交賀会	職員が各ユニットを獅子舞に扮して邪気を払い、無病息災を祈りました。その後、和菓子で新年をお祝いしました。
2月	桜の花作成	みずき団子のミズキの木に手作りの桜を飾り、おやつを食べながら一足早い花見を楽しみました。
	節分行事	昼にはイワシを焼き、邪気払いをしました。午後に鬼に扮した職員にカラーボールをぶつけて、おやつをひとり一人頂きました。
3月	麗峰苑大学修了式	模擬、卒業式を行いました。袴姿ご利用者に涙ぐむ人もおり、厳かに終える事ができました。

(ユニット行事) 誕生会は当該月日に実施している。

実施月	行事名	内容
4月	紙芝居(岩手山)	職員の紙芝居「愛染かつら」を見て、おやつを食べました。
	喫茶店開店(たか&くみ){姫神山}	2階ステーション前に喫茶店模擬店にてユニットから出る機会を作り気分転換を図りながら、喫茶店の雰囲気を楽しみました。
	カラオケを楽しむ(八幡平)	感染対策をし、久しぶりにカラオケを楽しみました。
	カラオケを楽しみながらおやつを食べる(七時雨)	駄菓子を準備し、いつもと違う雰囲気でもカラオケをする人、お菓子を食べる人と久しぶりの交流をしました。
	季節のてんぷらを味わう (全ユニット)	かぼちゃ、ふきのとうのてんぷらをお昼時間追加で季節を味わいました。
5月	スポーツ大会(八幡平)	ボール渡し、紙コップ倒し、玉入れ競技をしました
	プリンを作って食べる(岩手山)	プリンにデコレーションを楽しんでもらい食べました。みなさんご満悦でした。
	紙芝居(3話)(七時雨)	紙芝居をきっかけに昔ばなしで盛り上がりました。
	姫神山イチゴ狩りにでかけよう!!	2階ステーション前にいちご狩りセットを作成し本物のいちごをもいでいただきました。その後イチゴパフェにして食べました。
	外出支援(姫神山)	ストレスで言葉数が減って来たご利用者を自宅の庭

		にご案内し、車窓からご家族にも会いました。
	散歩時使用のバンダナに飾りつけ	個々のバンダナを準備し、飾りつけや名前を書いて、活用していただきました。
	豆腐入りレアチーズを味わう (全ユニット)	気分転換もかねて、職員手作りのおやつを喫茶店気分で味わっていただきました。
6月	百歳のお祝い!! (姫神山)	紅白幕等装飾し、みんなでお祝いをしました。100歳になる事を本人も驚いていました。職員でさんさ踊り披露しお祝いをしました。
	紙芝居を見て楽しむ (岩手山)	ぺろぺろキャンディを舐めながら「2話の紙芝居」を見て、昔を思い出しながら楽しみました。
	農園で育てた野菜で漬け物を作ろう (岩手山)	二十日大根を育てて、収穫し漬け物(甘酢)を作りみんなで味わいました。
	踊りに参加しよう! (八幡平)	入居者様参加型の体操/歌う、職員の一人一芸を見て楽しみました。
	一日食堂開店 (姫神山)	チキンラーメンとお握り(入居者様で作る)でラーメン店の気分を味わいました。
	アスパラの肉巻きをふるまう (全ユニット)	季節の野菜を味わってほしいとの思いから肉まきを作り、生のアスパラを見たり触ったりと5感に働きかけました。
7月	白寿のお祝い! (八幡平)	豆腐ケーキを作成し皆さんで食べながらお祝いをしました。涙を流し自分の年齢を何度も言葉にしていたのが印象的です。
	梅酢作り (岩手山)	苑で育てている梅を収穫し、梅酢をご利用者様と一緒に作りました。
	花火で夏を感じよう! (七時雨)	正面玄関前で花火を手にとっていただき楽しんでもらいました。(少人数を何回かに分けて実施)
8月	花壇の花をいけてみよう! (全ユニット)	外に出る機会が無いので、苑の花壇の花をユニット毎に生けてもらい季節を味わって頂きました。
	花火大会 (八幡平)	正面玄関前で花火を手にとっていただき楽しんでもらいました。(浴衣を着るなど季節感を出しました)ノンアルコールビールやスイカなども提供しました。
	流しそうめん (七時雨)	流しそうめん機械を準備し、プチトマトで彩を添えて季節感を楽しんでもらいました。
	花火大会 (岩手山) (姫神山)	手持ち花火で楽しんでもらいました。
	押し花を作ろう! (岩手山)	台紙に押し花で飾りを糊つけし楽しんでもらいました。完成品を部屋に飾りました。
9月	自宅に帰ろう! (八幡平)	幻覚など不穏が続いたため、感染防止をしっかりと行い、ご家族に検温などの協力をして頂き、1時間ほどご自宅で過ごしていただきました。
	姫神山バナナ王国へ出かけよう!	バナナを自分で収穫をして、収穫したバナナでバナナジュースを味わっていただきました。
	農園で収穫した野菜を味わう (全ユニット)	トマトでスパゲティ、ピーマンで肉詰めを作り各ユニットで職員と一緒に味わいました。
10月	薬膳料理でコロナ対策 (姫神山)	お粥を土鍋で作し、クコの実や松の実などのお好みを入れ、味わいました。
	綿あめ作りと紙芝居と楽しもう (七時雨)	綿あめ機を使用して目の前で綿あめを作り、食べながら紙芝居を見ました。
11月	手作りおやつ (八幡平)	入居者様の目の前でどら焼きを作り、食べてもらいま

		した。待っている間も歌を唄うなどして楽しみました。
	年賀はがきを家族へ（岩手山）	誰に出したいかをお聞きし、書いてもらい郵便で出しました。ご家族にとっても喜んでもらいました。
12月	白寿のお祝いをしてDVDを家族に送ろう（八幡平）	誕生日会や普段の様子をおさめたDVDを作成し娘様に贈りました。
	自宅に帰ろう！（八幡平）	感染対策を十分に行い（がん末期入居者様）1時間程旦那様と過ごされました。（一週間後入院しました。）
	年賀状を作ろう（七時雨）	年賀状にシールを貼るなどしご家族に送りました
	おやつ作り（七時雨）	たこ焼きとフルーチェを入居者様と一緒に作り、食べました。（ご利用者にもエプロンや三角巾を着用して雰囲気も楽しんでもらいました。表情もほころんでいました）
	クリスマス会（姫神山）	職員のダンスや手品などのショーを見ながらケーキを食べました。
	クリスマス会（岩手山）	クリスマスケーキを食べながら紙芝居を見ました。
1月	新年のお祝い会食（七時雨）	ユニットを飾りつけし、昼食前には、お互い年頭のあいさつをするなどして馴染みの友人の集まりのような雰囲気の中、お祝い膳を食べました。
	笑う門には福来る（八幡平）	おやつを食べながらドリフターズのDVDを視聴し大笑いをしました。
	新春カラオケ大会（七時雨）	体操や歌を唄い、感染対策の上交流を深めました。
	喫茶の気分を味わう（七時雨）	本人希望のコロンビア・コーヒー豆を挽き、香りや味を楽しんで頂きました。生き返った。幸せだ。の一言を聞くことができ、職員も喜びを味わったひと時になりました。
	雛飾り作り（七時雨）	色紙に（職員手作り）雛飾りを選んでいただき糊付けをし飾り付けをした後、部屋に飾りました。
2月	100歳の誕生日を皆さんでお祝いしましょう（岩手山）	誕生日会に食べるケーキをデコレーションし、誕生日会をみなさんと彩を添えました。
	ちゃぶ台返し（姫神山）	ちゃぶ台の模擬を作成し、大きな声でひっくり返し距離も測定し、表彰をしました。
3月	クレープ屋さん（岩手山）	クレープやプリンにデコレーションをして自分たちでおやつ作りをして食べました。
	カラオケ大会（七時雨）	ラジオ体操やカラオケをするなどし、交流を楽しみました。
	お楽しみ会（八幡平）	どっぴき（箱の中に隠しているプレゼントを紐を引っ張り、あてるゲーム）

（5）地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
7月	平舘高校授業参観	全学年の授業参観と評議員会に参加しました。
9月	盛岡医療福祉スポーツ専門学校 実習生受入（4名）	9月7日から11日まで、各ユニット1名の 実習生を受け入れました。行事企画をして実施 してもらった体験をして頂きました。
10月	施設見学 平舘小学校6年生（7人）教員1名PTA 会長（合計9名）	「小学校防災マップ」作製の一環で 施設設備等の見学と説明を実施しました （11月授業参観日で発表）

11月	盛岡広域障害者就職・生活支援センター及び 岩手障害者職業センター（2名）	八幡平市の状況や障害者を取り巻く就職の定着支援等の情報交換会をしました。
12月	短期専門講習（介護現場の看取り）	福祉職の為の死生観教育、講師として参加しました。意見交換や施設見学希望もありました。
2月	八幡平市認知症初期集中支援チーム検討委員会	令和2年度活動報告及び実績報告令和3年度高齢者福祉計画案、議長として参加しました。

(6) 研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
4月	新採用時研修	2名
	高齢者虐待防止（委員研修）	6名
	利用者プライバシー保護について	41名
	web 動画研修：持ち上げない安全快適トランスファー原理原則編	40名
5月	web 動画研修：安全トランスファー技術編	41名
	接遇マナー「人の夢を支える！介護の持つ力」	41名
6月	資料研修：「笑顔を育む」排泄ケア	41名
	DVD視聴研修：食中毒予防	41名
	DVD視聴研修：高齢者福祉における職業倫理「身体拘束」編	46名
	DVD視聴研修：介護職の医療的ケア	41名
7月	課題提出研修：リスクマネジメントの基本	46名
8月	パート職員研修「新型コロナ対策」「基本介護技術100ポイント」	8名
9月	新型コロナ感染症対策シュミレーション動作訓練	47名
	認知症ケアのグレーゾーン（資料研修）	41名
10月	ノロウイルス対策（汚物処理方法と正しい手洗い）DVD視聴	43名
	施設防災訓練	47名
11月	介護現場における急変予防と対応について（資料研修）	40名
12月	医療的ケア（口腔内喀痰吸引実技模擬試験）	24名
	外部研修参加者伝達研修	12名
	グループワーク身体拘束三ロック「スリッパ-和ソックス」現状分析と解決策検討会	14名
3月	医療的ケア研修(筆記模擬試験)問題30問(解説付き)	36名
	法人職員キャリアパス体系研修(監督職)指導・育成の役割を果たす為に必要な事等	3名
	法人職員キャリアパス体系研修(一般上級)リーダーとして、メンバー間の信頼を築く	5名
	法人職員キャリアパス体系研修(一般上級10年以上)エイト公約とエイトの現状を知り、目標達成の検証が出来る	7名
	法人職員キャリアパス体系研修(一般上級10年未満)エイトの問題に気づき課題解決に取り組む	7名
	法人職員キャリアパス体系研修(一般上級7年未満)チームマネジメント	7名
	法人職員キャリアパス体系研修(一般中級)組織の中での自分の役割を認識する。	3名
	法人職員キャリアパス体系研修(一般初級)報告・連絡・相談・観察・記録について理解できる	2名
	法人職員キャリアパス体系研修(一般新任)法人・施設理念を理解し業務に活かすとは何かを理解できる。	2名
	法人職員キャリアパス体系研修(パート職員)福祉施設職員としての接遇マナーと認知症対応	8名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
6月	コロナウイルス感染症の現状と今後の方向	盛岡北部行政事務組合	1名
7月	コミュニケーションを阻害する問題を見つけていこう 健康づくりと健康診断	岩手産業保健総合支援センター	1名
	職場における新型コロナ感染症予防のポイント	岩手産業保健総合支援センター	1名
8月	コミュニケーションカブラッシュアップ講座	ジョブカフェ岩手	1名
	これからの実地指導・監査対策のポイント	介護労働安全センター	1名
	特定給食施設等研修会	岩手県中央保健所	1名
9月	岩手県認知症介護基礎研修	いきいき岩手支援財団	1名
	介護記録の書き方	介護労働安全センター-岩手支部	1名
	介護労働者雇用管理責任者(基礎・総合)	介護労働安全センター-岩手支部	1名
10月	岩手県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修2	岩手県災害福祉広域支援推進機構	1名
	能力開発啓発セミナー-キャリアアップ講習会	介護労働安全センター-岩手支部	3名
	今こそ実践メンター制度	介護労働安全センター-岩手支部	2名
	メンタルヘルス研修管理者編	岩手県社会福祉事業団	1名
	組織の中で仕事をするという事の理解	中央ブロック高齢者福祉協議会新人職員研修	1名
11月	地域福祉推進フォーラム	県保健福祉部地域福祉課	1名
	リハビリテーションケア技術講習会	いわてリハビリテーション	1名
	介護利用者家族に対する接遇マナーコミュニケーション	中央ブロック高齢者福祉協議会新人職員研修	2名
	令和2年度岩手県高齢者権利擁護セミナー	いきいき岩手支援財団	1名
	福祉職員キャリアパス対応生涯研修初任者	岩手県社会福祉事業団	1名
	介護士実習指導者講習会	日本介護福祉士会	1名
	甲種防火管理者講習会	岩手県防災保安協会	1名
12月	岩手県介護職員医療的ケア第1号2号終了	岩手県社会福祉協議会	1名
1月	介護職種の技能実習指導者講習会	日本介護福祉士会	1名
2月	新カリキュラム対応介護実習指導者研修	岩手県介護福祉士会	1名
	働きやすく魅力ある職場づくり実践セミナー	介護労働安全センター-岩手支部	2名
3月	Webセミナー「福祉施設における感染症対策」	損保ジャパン株式会社	1名
	職員のやる気を引出し定着に繋げるキャリアプラン	介護労働安全センター-岩手支部	1名
	確かな人間関係と優れた職場チームを作る技	介護労働安全センター-岩手支部	1名
	オンライン研修「介護報酬改定研修」	日本理学療法士会	1名
	介護報酬改定研修説明会	岩手県介護支援専門員協会	2名

【事故報告】 1件：左大腿骨骨頭骨折

年齢	70歳	男性	11月19日から11月30日入院
発症・詳細	<p>令和2年11月19日、自室にて転倒。八幡平市立病院受診(手術等せずに安静加療の為入院)*職員の支援を拒否した為に起こった事故でしたが、見守りが必要な方でした。事故原因・事故検証を実施しました。</p> <p>ご本人、本人妻もしきりに反省し、「施設には迷惑を掛けました」との言葉もあり、退院後も骨折以前と同様の生活を継続しております。(行政報告終了)</p>		

【第2種社会福祉事業】

・麗峰苑指定短期入所生活介護事業

【事業目標に対するの評価】

事業目標	事業方針	評価
在宅生活継続と自立の支援	利用者様の在宅生活を尊重し、自宅での自立した生活が無理なく継続出来るように支援を行う。	在宅生活が継続できるようアセスメントを行い、施設での支援統一することで、帰宅しても無理なく生活できるように支援が出来ました。
	在宅における介護者の介護力の維持を図るよう連携していく。	レスパイトや緊急ショートを受け入れや利用希望に添ったサービス提供が出来ました。
他者との交流にて楽しみを見出すことができるような支援	他の利用者様との触れ合いの中で、新たな趣味活動等を行うことにより、明日への楽しみを見出すことが出来る支援を行う。	在宅生活では出来ない活動や他者との交流、行事参加等を通して支援出来ました。

(1) 短期入所事業の目標への取り組み

- ・入院で空いた居室を利用して短期入所を受け入れた結果、平均 0.7 名/日の実績を得た。

(2) 短期入所者の利用状況

利用状況 麗峰苑 短期(空床型)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
入院日数	84	33	46	67	80	176	80	125	120	97	17	26	77.1
短期利用日数	15	5		14	13	27	15	13	27	92	23		21.4

令和2年度 累計実人数 23人/年、累計延べ人数 257人/年

(3) 提供サービス充実への取り組み

空床利用のため急な利用希望の方も多く、利用前のアセスメントは十分とは言えませんでした。担当する居宅介護支援事業所と連携をとり、出来る限りご本人やご家族の意向に沿うよう支援を行いました。また、利用時の様子を居宅介護支援事業所やご家族へ書面や口頭で報告し、再度利用していただくよう努めました。「他の施設は利用したくないから麗峰苑さんでお願いしたい」と話されていたと担当介護支援専門員から2名ほどの報告を頂きました。

【公益事業】

・麗峰苑指定居宅介護支援事業

【事業目標に対するの評価】

事業目標	事業方針	評価
利用者様やご家族の在宅生活の支援に努めます。	利用者様とご家族との面談を通して、課題の把握とサービスの支援を適切に行う。	利用者様やご家族のニーズや課題についてモニタリングや再アセスメントを通し、把握すると共に、必要に応じて月に複数回面接を行ないながら情報把握を行いました。
	サービス提供事業所と情報を共有し、利用者の自立支援と介護者の介護負担の軽減が図れるように努める。	サービス事業所とは顔の見える関係づくりを軸とし、日頃から連絡、連携を密に行い情報共有の徹底を行いました。
医療との連絡・連携に努めます。	在宅生活を継続できるよう、かかりつけ医との情報交換を行う。	入院時、退院時においては、医療機関と迅速に情報交換をし医療連携

	入院時、病院等への訪問や電話連絡にて必要な情報を提供する。	強化を実践しました。医療機関と情報連携を行う事により退院後の生活において支障とならないように配慮しました。平時の医療連携においては、医療連携がまだまだ乏しく、かかりつけ医や主治医との更なる連携に努力したい。
	退院時、病院等に訪問し、カンファレンス等で必要な情報を収集し、在宅生活に戻ることができるようサービス調整等を行う。	
介護支援専門員の質の向上に努めます。	高齢者支援全般に関する内外的な研修に参加し、相談支援できる知識の取得に努める。	外部研修においては、介護支援専門員のスキル向上や事業所として実地指導や介護情報の公表制度において必要となる研修をメインに参加し、知識の向上を図りました。
	地域ケア会議に参加し、地域の困難事例の把握に努めるとともに、自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。	外部研修においては、介護支援専門員のスキル向上や事業所として実地指導や介護情報の公表制度において必要となる研修をメインに参加し、知識の向上を図りました。

(1) ケアプラン作成目標への取り組み

期中のケアプラン作成目標件数を1ヵ月平均 39.3 件に設定し、これに取り組んだ結果、目標を下回る実績となった。(1ヵ月平均 33.4 件)

利用状況 居宅介護支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ケアプラン作成件数	34	36	33	35	34	34	36	33	33	31	31	31	33.4
新規		3					3		1	1	1		0.8
中止									1				0.1
終了	1					1					1		0.3
認定調査											1	2	0.3
平均介護度	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.2	2.1	2.0	2.1	2.1

(2) ケアプラン作成の基本方針

ケアプラン作成に当たっては、「その利用者様が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づきながら、「自己決定」「利用者様本位」を最優先し、利用者様及び家族様の要望を尊重して作成した。

(3) 委託業務

介護予防支援業務委託（八幡平市地域包括支援センター） 平均 6.0 件/月
要介護認定調査（盛岡市）2 件/年（北部行政事務組合）9 件/年

(4) 研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
9月	新型コロナウイルス感染症対策	1名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
7月	岩手県地域包括ケア研修	いきいき岩手財団	1名

9月	岩手県権利擁護地域研修（相談援助編）	いきいき岩手支援財団	1名
	認知症患者のリハビリテーションと対応方法、認知症初期チーム報告・その他	いきいき岩手支援財団	1名
10月	岩手県権利擁護地域研修（包括的・継続的ケアマネジメント編）	いきいき岩手支援財団	1名
	令和2年ケアマネ支援センター相談事例の内容紹介研修	NPO法人いわての保健福祉支援研究会	1名
11月	岩手県権利擁護地域研修（地域ネットワークづくり編）	いきいき岩手支援財団	1名
12月	危険物取扱者試験準備講習会	岩手県危険物安全協会	1名
3月	令和3年度介護報酬改定に係る研修会	岩手県介護支援専門員協会	1名

（5）地域との交流促進

実施月	団体名	内容
新型コロナウイルス感染防止対策の為、実施しませんでした。		

【特別養護老人ホーム繋松苑拠点区分】

【第1種社会福祉事業】

・特別養護老人ホーム繋松苑事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
「サービスの質の向上」に向け、多職種連携を図る	自立支援に向けた取り組みを実施するため、個別の情報把握に努め、多職種連携を図る。	個別の情報収集に関して書式を検討しながら、多職種間で情報把握が出来るように取り組むことが出来た。
	入居者が自己決定・自己選択できる環境を作り、主体的な暮らしが継続できるようにチームケアを推進する。	外出支援が難しい中であつたが、生活の中で意向を汲みながら、自己決定できる環境を提供することが出来た。
	サービスの質の向上の為、入居者様及びご家族へ向けた「サービス満足度アンケート」を実施しニーズ把握に努める。	ご家族へ面会についてのアンケートを実施し、頂いたご意見をもとに業務改善に取り組んだ。今後も継続していきたい。
地域の福祉の拠点となるよう、地域貢献活動に積極的にかかわる	地域の方々の集いの場となるように展望室等の環境を整える。	地域の方々へ施設を開放することが出来なかった。
	家族会と施設が連携することで、地域福祉の推進及び施設の活性化を目指す。	家族会との交流会は実施できなかったが、行事等に関しては協力していただき、縮小はしたが予定通り実施することが出来た。
	地域サロンや地域ケア会議への参加にて地域ニーズの把握をし、地域福祉の貢献に努める。	地域サロンには積極的に出向くことが出来た。地域ケア会議は書面参加となった。
労働安全衛生に努め、「安心・安全な職場環境」の	安全衛生委員会を中心に、職員のメンタルサポート体制の充実を図る。また、セルケア・ラインケ	セルフケアに関しては、様々な方面から情報提供ができた。ラインケアに関しては研修会を開催することが出来

維持・向上に努める	アの研修と体制の構築に向けた取り組みを行う。	なかった。今後の課題として取り組んでいくようにする。
	腰痛対策として腰痛体操の実施や体のしくみ等々の研修会を行うことで、意識付けと腰痛予防及び介護負担の軽減に繋げていく。	毎朝腰痛予防の体操を実施しており、持ち上げない介護を推進している。予防体操が職員の日課となるよう啓蒙活動を継続していく。
	健康診断等を通し、自分自身の健康管理の意識向上に努める。また、がん検診への啓蒙活動をする。	感健康診断は計画的に実施できたが、がん検診は感染のリスクもあり啓蒙活動が出来なかった。

(1) 入居者の確保への取り組み

入居者定員数（90名）の維持確保に取り組んだ結果、月平均89.8名の実績を得た。

入居者の推移（各月初め入居者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	17	16	16	15	16	17	17	17	17	18	18	17	16.8
女	73	74	74	75	73	73	72	73	73	72	72	73	73.1
計	90	90	90	90	89	90	89	90	90	90	90	90	89.8
内、入院者	2	5	9	10	1	8	3	2	1	2	5	3	4.3

出身地別内訳（令和3年3月末現在）

計90人 盛岡市44人、滝沢市26人、雫石町10人、釜石市1人、宮古市2人、岩手町1人、八幡平市1名、一関市1人、奥州市1人、遠野市1人、矢巾町2名

(2) 入居者の要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護3	210	280	300	348	341	338	422	390	390	372	336	372	341.6
要介護4	1,351	1,306	1,291	1,353	1,395	1,328	1,309	1,282	1,312	1,350	1,204	1,342	1318.6
要介護5	1,134	1,196	1,097	1,067	1,051	1,020	1,054	1,026	1,085	1,063	980	1,069	1070.2
計	2,695	2,782	2,688	2,768	2,787	2,686	2,785	2,698	2,787	2,785	2,520	2,783	2730.3
平均介護度	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3

(3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計	1	2	4	6	1	2	4	1	2	2	1	2	28
退居計	2	1	4	7		3	3	1	2	2	1	2	28
備考	(退居内訳)					(平均年齢)							
	死亡			3		10	87.0歳						
	長期入院			3		8	男女別	男	83.8歳				
	他施設			2		1		女	90.2歳				
	家庭復帰					1	(入居待機者)						
	その他												
	合計			8		20	35人						

(4) 提供サービス充実への取り組み

施設理念に基づき、入居者様個々の身体状況、精神状況、環境面を踏まえ生活の質の向上、自立支援に向けた個々のサービス計画を作成し、入居者様の尊厳を尊重するよう取り組みを行いました。具体的な取り組み内容は以下の通りです。

食事サービス

○管理栄養士による管理の下、適時、適温、季節感の味わえる食事を提供しました。行事食は何時も好評でした。(食事時間は概ね朝食 8 時 00 分・昼食 12 時 00 分・夕食 18 時 00 分頃の提供で、おやつも楽しんでいただいております)

入浴サービス

○一般浴室(温泉浴)・特別浴室・個別浴室(ユニット毎)での入浴を身体状況に考慮し個別に対応できました。温泉浴は常に好評です。

生活支援サービス

着替え、排泄、食事等の介助、口腔ケア、爪切り、ひげそり、トイレの誘導、機能訓練、オムツ交換、体位交換、シーツ交換、施設内の移動の付添などケア計画に添いながらその日の体調を確認しながら行うことが出来ております。

緊急時の対応

○看護師・介護職員が夜間急変時に即対応可能なように連携体制を強化することができました。

各種生活相談

○生活相談員による日常生活に関する相談、介護支援専門員による介護保険に係る相談を平日可能なように体制を整えることが出来ました。

娯楽行事等の実施

周辺の花見ドライブ、夏祭り、敬老会、クリスマス大忘年会、餅つき大会(正月用鏡餅) 雪まつり
ユニット毎の行事(昼食作り、おやつ作り、お花見、ショッピング、入居者様 1 人ひとりの誕生会)
生き粋活動 遊びりテーション GAKU(年 3 回) クッキングこびりっこ(年 4 回) 手芸チョコキ
チョコキ(年 3 回) 居酒屋(年 8 回) 家庭菜園(適宜) 書道志(年 2 回)
全体行事から個別外出まで、個人と状況に合わせ実施することが出来ました。

(年間行事)

施設行事(全体)

実施月	行事名	内容
4 月	お花見行事	コロナ感染対策にて苑敷地内に咲いている枝垂れ桜の鑑賞をしていただく。
8 月	「繫縁日」	コロナ感染対策にて、例年のように来賓、ご家族様を招いての夏祭り開催は中止。今年度は入居者様と職員のみで、ユニットごとで縁日を開催。屋台のメニューの提供や、家族会からの景品の提供のご協力もあり、入居者様の皆様は大変喜ばれていた。また、職員においても入居者様とゆっくり関わる時間も持てた。
9 月	長寿を祝う会	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、4 階展望室にて年祝者のみの祝賀式典開催となる。規模は縮小したが、お一人お一人にゆっくりと関わられた式典となった。全体としては昼食時にお祝い膳が提供され喜ばれていた。
10 月	滝沢南中学校定期演奏会	感染症拡大防止の為、生徒の皆さんが来苑して演奏していただく事が出来なかったが、学校で演奏した様子を DVD として苑に届けてくれた。感染対策をしながら入居の皆様 10 名ほどで 4 階展望室にて DVD 鑑賞を行った。また苑で鑑賞したご様子を DVD に作成し生徒の皆さんにお礼としてお届けした。今年は直接の交流は出来なかったが、DVD を届けあうことで繫がりを持つことが出来た。来年度へも繫げていきたい。
	盛岡シティマラソン応援	新型コロナウイルス感染症予防の為、開催中止。
	芸術祭	4 階展望室で入居者様、職員、ユニットの作品展示を行っ

		た。笑顔で協力して制作活動も行ってた。
12月	クリスマス・大忘年会	感染拡大防止の為、各ユニットでクリスマス会を行った。ユニットでプレゼント抽選会やゲームなど工夫を凝らしており、ケーキもユニットごとに提供し、いつも以上に召し上がった方もいて楽しい時間を過ごすことができた。
	餅つき、お供え作り	感染拡大防止の為、今年はお餅を購入し各ユニット、各部署に鏡餅を配置。正月のお飾りと花も各フロアで準備した。お正月にはお花の前で写真撮影が行われ、ご家族へ送ることが出来た。
1月	書道教室	ユニットごとに道具を配布し、入居者様各々で新年の抱負を書初めされ、居室に飾りました。
2月	節分(豆まき)	感染対策の為フロアごとでの開催とした。フロア担当の鬼がユニットを回り、一年の健康をお願いしながら、豆をまくユニットや豆の代わりにボールを投げるユニットと様々であった。おやつには甘酒を提供した。
	雪だるまつり	今年の干支である「丑」をモチーフに中庭と2階ベランダに雪像を作成した。また、イルミネーションも同時に飾りユニットや、各ステーションから眺める事ができた。1週間眺める事が出来てそれぞれ楽しく過ごす事が出来た。
3月	ひな祭り	2階ステーションにお雛様を飾った。皆さん、懐かしむようにご覧になられたり、写真を撮ったりしていた。

施設行事(ユニット行事)

実施月	行事名	内容
4月	おやつ作り	プリンやクレープ作りを行った。(複数ユニット)
5月	クッキング	茶碗蒸しを作り昼食に召し上がる。
	レクリエーション	ボーリングや輪投げ大会
6月	レクリエーション	ボーリングや的当てゲーム
	七夕かざり	短冊に願いをしたため飾る
	外出	アイスクリームを食べに出かける
7月	おやつ作り	パンケーキを作り召し上がった
	レクリエーション	的当てボール投げ
8月	スムージー作り	ブルーベリーとバナナを豆乳で作りました。
9月	芸術祭に向けた作品作り	童謡を聞きながら作品作りを行い、その後お茶会を実施。
	さつま芋巾着作り	さつま芋の皮むきから一緒に取り組み、まるやかに仕上がりに美味しくいただいた。
10月	絵付け	絵具を利用し、作品作りを行いその後お茶会を行った。
	スイートポテト作り	トースターで焼くことでとても良いにおいがして美味しくいただいた。
11月	紅葉ドライブ	御所湖広域公園にて晩秋の紅葉を楽しんだ。
3月	忘年度会	年度の終わりということでレクを行い、お茶会では話が弾み楽しかった。

(5) 地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	行事名/ボランティア名	内容
6月	つなぎ地区サロンお茶っこ飲み会	機能訓練(ストレッチ・脳トレ・筋トレ)
7月	つなぎ地区サロンお茶っこ飲み会	機能訓練(ストレッチ・口腔体操・筋トレ)
8月	つなぎ地区サロンお茶っこ飲み会	機能訓練(ストレッチ・脳トレ・筋トレ)

9月	つなぎ地区町内会	つなぎ地区敬老会 中止の案内が来る
	つなぎ地区サロンお茶っこの会	地域サロン機能訓練
10月	つなぎ地区サロンお茶っこの会	地域サロン機能訓練
	つなぎ地区早朝ゴミ拾い	地域の清掃活動協力
1月	介護労働安定センター	介護実務者研修受け入れ(5日間)2名
2月	地域ケア会議	情報交換、書面にて開催
3月	イート・ブ 地域包括支援センター「買い物支援」	認知症・障がい者の買い物支援についての会議

(6) 研修報告

施設内研修

実施月	内容	参加人数
4月	新人職員オリエンテーション	6名
	介護職員内部研修(リーダー)	10名
5月	新人フォローアップ研修	4名
6月	新人フォローアップ研修	4名
	感染防止・褥瘡対策委員会内部研修	25名
	介護職員内部研修(サブリーダー)	10名
	介護職員内部研修(介護職員(1))	10名
7月	拘束廃止・高齢者虐待防止委員会内部研修	10名
	介護職員内部研修(介護職員(2))	10名
	新人フォローアップ研修	4名
8月	介護職員内部研修(介護職員(3))	6名
	新人フォローアップ研修	4名
	事故対策委員会内部研修	20名
9月	介護職員内部研修(パート)	7名
	新人職員研修	4名
	排泄委員会内部研修(緊急時における排泄対応、マニュアルの確認)	7名
10月	感染防止委員会(嘔吐物処理の仕方、ガウンテクニックの方法)	10名
11月	介護職員内部研修(サブ)	9名
12月	サービス向上委員会内部研修(オンライン、タブレットの使用方法について、動画作成しパソコン上で確認しレポート提出)	介護職員
	拘束廃止委員会内部研修(不適切ケアについて、動画作成しパソコン上で確認しレポート提出)	介護職員
	介護職員内部研修(1) 書面での課題提出形式に変更	9名
1月	介護職員内部研修(2) 課題提出形式に変更	10名
	事故対策委員会内部研修(ヒヤリハットについて)動画視聴	全介護職員
2月	介護職員内部研修(3) 課題提出形式に変更	6名
	排泄委員会内部研修(コンチネンス発表会)動画視聴	全介護職員
3月	介護職員新人研修:委員会の役割と活動について	4名
	介護職員内部研修(パート)感染防止と業務改善について	4名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
8月	介護職員医療的ケア研修	岩手県社会福祉協議会	1名
	国勢調査員研修会	盛岡市市長公室企画調整課	1名
9月	介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働安定センター	1名
	認知症介護実践リーダー研修	いきいき岩手支援財団	1名
	医療的ケア研修	岩手県社会福祉協議会	1名

10月	認知症介護実践リーダー研修	いきいき岩手支援財団	1名
	医療的ケア研修	岩手県社会福祉協議会	1名
	新型コロナウイルス感染症対策セミナー	災害福祉広域支援推進機構 岩手県社会福祉協議会 高齢者福祉協議会 障害者福祉協議会 岩手県知的障害者福祉協会	2名
11月	実習指導者講習会	岩手県介護福祉士会	2名
	医療的ケア研修	岩手県社会福祉協議会	1名
	福祉サービス苦情解決情報交換会	岩手県福祉サービス運営適正化委員会	1名
12月	実習指導者講習会	岩手県介護福祉士会	2名
1月	認知症介護実践リーダー研修	いきいき岩手支援財団	1名
2月	認知症介護実践リーダー研修	いきいき岩手支援財団	1名

【身体拘束】

月	内容	概要
7月	右上腕部骨折箇所に開放骨折の可能性があり、骨折箇所を固定するためのバストバンドを外さないようにミトンを使った。	開放骨折になれば生命に関わることになるため、骨折箇所保護の指示を受けていた。バンドを外す、患部を触る行動があったため、左手にミトンを着用する同意を得た。 身体拘束時間として7/2夜勤帯午前3時から7時40分の約4時間40分となる。(行政報告終了)

【事故報告】

月	内容	対応
6月	夕食後、リビング内にて自力歩行中に転倒され、左大腿骨亀裂骨折となる。	入院、手術せず、繋松苑で経過観察となる。本人の状態に合わせ、センサー等を使用し、環境面を整え安全確保に努めている。(行政報告終了)
	夜間帯0時ころ体動活発にて自立動作中、右上腕部をベッド柵に交錯し、激しい痛みがあり県立中央病院へ救急搬送後、右上腕部骨折と診断を受ける。	手術を視野に検査となるが、入院せず繋松苑に戻られる。その間開放骨折につながる可能性もあるため、環境面の見直し、骨折箇所を確実に保護するため同意を得て、身体拘束を7月に実施した。(行政報告終了)
8月	骨粗鬆症による右大腿骨頸部骨折(自立動作;車いす、ベッド、トイレ間のトランスファーの際負荷)	4~5日間かけ徐々に鼠径部から右大腿骨の痛みが表れる。痛みが激しくなり受診をした結果、右大腿骨頸部骨折と診断を受け入院し手術となる。退院後も行動活発のときがあるため居室内環境を整え、頸部等にかかる負担を軽減するように介助を実施している。(行政報告終了)
9月	温泉浴を終え脱衣室に戻る際、足が濡れており滑って転倒し、左大腿骨転子部骨折となった。入院手術後退院され当苑で生活されている。	手引き歩行で、誘導していたが、身体が濡れており足を滑らせたとき職員が支えきれない状況であった。体をきちんと拭くこと。歩行距離を短くする導線を作ること。滑り止めマットを引くこと。を実施した。また、同様の事が他の方にもおこらないように温泉入浴の注意事項を全体で再確認した。(行政報告終了)

	痛みの訴えがあり受診したところ、左大腿骨ステム周囲骨折の診断を受けた。特別な治療はせず当苑で生活を継続し、痛みの対処に努めた。	入浴以外ベッド上での生活だったため検証した結果、ベッドのギャッジアップ、体位交換、排泄介助における生活動作の中で、以前の骨折箇所に負担がかかり骨粗鬆症もあったことから骨折に至ったと判断した。介助方法、ポジショニングの再確認、入居者の動きに合わせた体位交換を実施し再発防止に努めた。(行政報告終了)
11月	本人より痛みの訴えがあり受診したところ、左膝脛骨剥離骨折の診断を受ける。	転倒等がなかったため検証した結果、車いすで自走する方なので、行動範囲を確認したところテーブルやいすの角に膝をぶつける可能性がある箇所が数か所見つけた。そこに保護材を巻いた。また、麻痺側がフットレストから落ちないようにバンド固定等見直しを行った。(行政報告終了)

【第2種社会福祉事業】

・ 繫松苑指定短期入所生活介護事業

(1) 短期入所事業の目標への取り組み

定員 10 名に対し目標利用者を一日平均 10 名に設定し活動した結果平均 8.7 名/日の実績を得ました。

(2) 短期入所者の利用状況

利用状況 繫松苑 短期

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要支援 2	6	6	5	6	9	9	10	11	10	6	6	6	7.5
要介護 1	45	66	63	63	64	65	50	32	55	47	56	40	53.8
要介護 2	100	94	84	84	113	90	81	93	72	80	81	92	88.7
要介護 3	122	114	66	62	61	63	81	86	64	48	37	33	69.8
要介護 4	17	20	22	25	38	64	52	26	31	40	60	66	38.4
要介護 5	4	4	5	4	7	3	6	3	10	8	9	16	6.6
計	294	304	245	244	292	294	280	251	242	229	249	253	264.8
平均介護度	2.4	2.3	2.2	2.2	2.3	2.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.5	2.7	2.4

入院の状況 ((空床利用) 短期入所生活介護)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
入院日数	127	208	249	139	108	184	90	44	47	100	91	122	125.8
短期利用日数	11	17		6	10	22	9						6.3

令和2年度 累計実人数 427 人/年、累計延べ人数 3177 人/年

(3) 提供サービス充実への取り組み

事業目標	事業方針	評価
在宅生活継続と自立の支援	利用者様の在宅生活を尊重し、自宅での自立した生活が無理なく継続出来るように支援を行う。	居宅訪問を増やし、在宅での生活が継続できるように支援が出来た。感染対策の為外出支援は減ってしまいました。機能訓練等実施し自立支援に向け

		た取り組みを実施できた。
	在宅における介護者の介護力の維持を図るよう連携していく。	在宅での生活が継続できるように家族とのコミュニケーションを密に行うよう心掛け対応した。
他者との交流にて楽しみを見出すことができるような支援	他の利用者様との触れ合いの中で、新たな趣味活動等を行うことにより、明日への楽しみを見出すことができる支援を行う。	感染対策を徹底しながら、レク活動を行うことが出来た。外出支援が少なかったが、ユニット内での制作活動を充実することが出来た。

(年間行事)

実施月	行事名	行事内容
4月	桜を見よう	雫石方面にお花見ドライブ(4名参加) 湯沢団地方面にお花見ドライブ(6名参加)
5月	写真立てを作ってみよう	写真立て製作レク(8名参加)
	おやつバイキング	お菓子を利用者様に選んで食べて頂く(7名参加)
6月	パンケーキを作ろう	ホットプレートでパンケーキ作り(7名参加)
7月	かき氷を楽しもう	かき氷を食べる(6名参加)
10月	紅葉を見て秋を感じよう!	雫石方面に紅葉ドライブ(5名参加)
	ケーキを作ろう	ホットプレートでパンケーキを作り
11月	おやつバイキングで楽しもう	おやつを小分けにして選んで頂く(8名参加)
3月	アイスを食べよう	アイスをデコレートして食べる(6名参加)

【松実会複合型福祉施設拠点】

【第2種社会福祉事業】

・小規模多機能型居宅介護事業所おはな事業

【事業目標に対する評価】

事業目標	事業方針	評価
小規模多機能型居宅介護事業所おはなをご利用されるすべての方々が、安心して過ごせる時間と空間を大切に考え、個々に生きがいを持ち、いきいきと笑顔で生活を送れるように家庭的で温かみのある介護・福祉サービスの提供に努める。	「地域と歩み・地域で育み・地域に生きる。思いやりと謙虚な心を常に持ち、この地で幸せを共に分かち合う」を基本理念とし、以下の事業方針を掲げる。 ・利用者様の気持ちに寄り添い、優しい心で向きあう。 ・利用者様の望む暮らしが実現できるよう、環境の調和に努める。 ・利用者様が気兼ねなく過ごせるよう、柔軟な態度で接する。	事業所が地域の一員としての自覚を持ち、利用者様が地域住民と交流できる環境を整えることができたが、岩手県における新型コロナウイルスの発生の影響を受けて、行事や地域活動等において思うような活動ができなかった面も見られた。

(1) 利用者確保への取り組み

利用登録定員29名の維持確保に取り組んだ結果、月平均28.8名の登録の実績を得た。
登録：29名(定員)

	延べ利用者数			登録者数
	【宿泊】	【通い】	【訪問】(回数)	
	最大定員数 9 名まで	最大定員数 18 名まで		
要支援 2		75		1
要介護 1	348	735	1,098	4
要介護 2	759	2,358	6,282	11
要介護 3	648	1,848	7,104	10
要介護 4	231	306	138	1
要介護 5	537	588	201	2
計	2,523	5,910	14,823	29

登録の状況者の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
新規	1		1	1			2					1	0.5
終了	1		1	1		1	1		1	1	1		0.7
平均介護度	2.4	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.5

出身地別内訳(令和3年3月末現在)

【県内】計28人 滝沢市27人、八幡平市1人

(2) 提供サービス充実への取り組み

利用者様お一人お一人の生きがいとなることや役割を担えるものを見つけ、ご本人にご自身の存在価値を感じていただくよう取り組んでいる。通いサービスでは、ご本人のご希望をお伺いしながら、事業所内の掃き掃除や窓ふき、食器洗いや事務作業などをお手伝いしていただくことで自立支援に繋げることができた。日々の生活の中で「自分が任されている」という役割をもつことで、日々の生活においてもやりがいや張り合いを生み出すよう支援に努めている。

*年間行事

実施月	行事名	内 容
4月	お花見団子作り	お花見ドライブ中止に伴い、季節感を味わっていただける行事を企画
5月	誕生会	5月誕生日利用者様を祝う会
	温泉を楽しむ会	温泉の素を湯船に入れ、温泉気分を味わっていただく企画
6月	誕生会	6月誕生日利用者様を祝う会
7月	かき氷行事	夏の風物詩で季節を感じていただく企画
	流しソーメン	夏の風物詩で季節を感じていただく企画
8月	誕生会	8月誕生日利用者様を祝う会
	夕涼み会	スイカ割り、ビンゴ大会を開催
9月	長寿会昼食行事	昼食を通して長寿を皆でお祝いする会
10月	ハロウィン行事	仮装等を企画し皆でおやつを食べる会
12月	温泉を楽しむ会	温泉の素を湯船に入れ、温泉気分を味わっていただく企画
	クリスマス会	ビンゴ大会及び抽選会等を企画
2月	節分行事	季節感を感じていただき福を呼ぶ会
3月	ひな祭り	春の風物詩で季節を感じていただく企画

- ・誕生会、クッキングクラブ、手芸クラブ、カラオケクラブ、書道教室...1回/月(定期開催)
- ・バスハイク(不定期)

【地域との交流促進】

実施月	団体名	内 容
-----	-----	-----

7、9、10月	ココしゃきクラブ	ココロからダンス及びリハビリ機器を活用した機能訓練
	べっぴんクラブ	紙芝居及び読み聞かせ会

* その他、下記については定期開催

- ・ 5、7、9、11、1、3月...運営推進会議（2カ月に1回開催）
- * 11月及び1月は新型コロナウイルスの影響で中止する
- ・ 毎月第1・3月曜日...滝沢ニュータウン1工区地域サロン（毎月開催）
- ・ 毎月第2木曜日...読み聞かせボランティア（毎月開催）
- ・ 毎月第3水曜日...手芸ボランティア（毎月開催）
- * 11月～3月まで新型コロナウイルスの影響で地域活動を中止する

研修報告

* 施設内研修

実施月	研修名	参加人数
5月	小規模多機能型居宅介護事業サービス研修（2日間）	9名
6月	介護保険制度を学ぶ（2日間）	9名
7月	介護援助技術（2日間）	10名
8月	緊急対応及び日常ケア（2日間）	10名
9月	緊急対応時及び日常ケアに関する	9名
10月	小規模多機能型居宅介護事業に関する	9名
	認知症ケアに関する	10名
11月	感染症及び感染予防・対策に関する	10名
12月	小規模多機能型居宅介護事業に関する	10名
	高齢者権利擁護及び身体拘束に関する	10名
1月	小規模多機能型居宅介護事業に関する	8名
2月	介護保険制度に関する	7名
3月	腰痛予防に関する	5名

* 施設外研修

実施月	研修内容	主催者	参加人数
5月	居宅情報交換会	滝沢市地域包括支援センター	1名
7月	バイタルサイン研修	チームもりおか	1名
	仕事力アップセミナー	岩手労働安定センター	1名
8月	嚙下リハビリ研修	チームもりおか	1名
9月	医療的ケア実地研修	岩手県	3名
10月	福祉用具導入の実践	チームもりおか	1名
	地域ネットワーク会議	滝沢市地域包括支援センター	1名
	やる気アップセミナー	岩手労働安定センター	1名
	在宅医療介護連携研修会	在宅ボックス滝沢	1名
2月	介護報酬改定	(株)サンメディカル	1名
	令和3年度介護報酬改定について	岩手労働安定センター	1名
3月	介護報酬改定	日本ケアマネ協会	1名

* 2月及び3月はZOOMにて参加する

【公益事業】

- ・ 住宅型有料老人ホームピースフル滝沢事業

【事業目標に対しての評価】

事業目標	事業方針	評価
自立を尊重した関わりを大切にし、入居者様自らができることは自身でおこなってもらう等、自己選択の機会を増やすことで生活の彩りを豊かにしていくことを目指します。	年間を通して季節感のある行事やレクリエーション等を提供し、日常生活の中に楽しみや生きがいを持って頂けるように努めます。	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ホーム内外の行事等計画通りとはいきませんでした。参加人数を減らす等し、出来る限り楽しんでいただけるよう務めました。
	入居者様が安心かつ安全に生活できるよう相談、援助に応じていきます。	入居者様のプライバシーに配慮し、食事時間以外にも希望する時間帯に安否確認を行いました。毎日のバイタル測定や健康相談の機会を通じて相談に対応しました。
	入居者様が可能な限りその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な環境づくりに努めます。	入居者様の状態に合わせ、福祉用具を活用するとともに食堂内の座席の見直し等、安全面に配慮した環境づくりに努めました。

(1) 入居者の確保への取り組み

入居定員数 18 名の維持確保に取り組んだ結果、月平均 17.8 名の実績を得ました。

入居者の推移 (各月初め入居者数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
男	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9.9
女	9	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8.0
計	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18	17.9
内、入院者						1		1		1			0.3

出身地別内訳 (令和3年3月末現在)

計 18 名 【県内】計 16 名 盛岡市 5 名、滝沢市 1 名、八幡平市 2 名、陸前高田市 2 名、宮古市 3 名、一戸町 1 名、釜石市 1 名、花巻市 1 名
【県外】計 2 名 北海道 1 名、宮城県 1 名

(2) 入居者の要支援・要介護の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
未認定	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
要支援 1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
要支援 2	30	31	30	31	31	30	53	60	62	62	56	62	44.8
要介護 1	120	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	93.8
要介護 2	150	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	180.0
要介護 3	150	155	150	155	155	150	155	150	130	155	87	93	140.4
要介護 4									22		25	31	6.5
要介護 5	30	31	30	31	31	30					28	31	20.2
計	540	558	540	558	558	540	549	540	555	558	504	558	546.5
平均介護度	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.8	1.9	1.9	2.0	1.9	2.0

(3) 入退居の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居計		1					1		1				3
退居計	1					1			1				3
備考	(退居内訳)						(平均年齢)						

	死亡				88.7 歳		
	長期入院				男女別	男	89.7 歳
	他施設	1		1		女	87.7 歳
	家庭復帰			1	(入所待機者)		
	その他				2 人		
	合計	1		2			

(4) 提供サービス充実への取り組み

基本方針の「入居者がホームでの暮らしに『いきがい』『やすらぎ』『よろこび』を感じ、安心・安全な日常生活を送っていただけるよう意識して 健康管理、 食事の提供、 娯楽・行事、 苦情・生活相談に取り組みました。

具体的には、

健康管理

毎日のバイタル測定

健康相談

協力病院への送迎、付添

健康診断の推奨

食事の提供

テーブルへの飛沫防止パネルの設置

食事時間の調味料のテーブルへの配置

希望時の居室配膳

娯楽・行事

近隣のスーパーマーケット等へのショッピング

小規模多機能居宅介護「おはな」と合同での行事や手芸教室等の開催

映画鑑賞会とクッキングクラブ、カラオケの開催

苦情・生活相談

意見箱の設置

運営懇談会の開催(6月・10月)

バイタル測定居室訪問の困りごと等の聞き取り(随時)

滝沢市介護相談員派遣事業の受入

を実施しサービス内容の充実に取り組みましたが、 娯楽・行事についてはコロナ禍のため中止や参加人数を制限する等入居者様に迷惑をかけてしまいました。

(年間行事)

実施月	行事名	内 容
4 月	お花見ドライブ	内丸周辺を降車せず、車内からの花見
5 月	花植え	4 階屋上へのプランターの設置
6 月	公園散策	滝沢総合運動公園の散策
7 月	運営懇談会	前年度下期の状況報告等
9 月	長寿を祝う会	行事食の提供と記念品贈呈
10 月	紅葉ドライブ	3 グループに分かれ御所湖方面に出掛ける。
	運営懇談会	サービス内容の一部変更等の説明。
	消防訓練	日中帯における出火を想定し、消火・避難・通報訓練を実施。
11 月	紅葉ドライブ	高松の池に出掛ける。
	映画観賞会	邦画「果たし合い」を上映。
12 月	クリスマス会	昼食後にケーキとコーヒーの提供と、くじ引きを行う。
2 月	節分 豆まき	鬼に扮した職員に豆まきをした後、白玉団子を皆で食す。
3 月	消防訓練	夜間に洗濯室からの出火を想定し、消火・避難・通報訓練を実施。

【地域との交流促進】

実施月	団体名	内 容
6・7・9・10・11月	べっぴんクラブ	紙芝居や絵本の読み聞かせ
7・9・10・11月	地域サロン	100歳体操。
10月	滝沢ニュータウン自治会	自主防災訓練への参加（入居者3名参加）

（5）研修報告

施設内研修

実施月	研修名	参加人数
6月	福祉施設職員としての接遇マナー	4名
8月	外部研修報告「感染症対策」	3名

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
7月	仕事力アップセミナー 感染症対策	滝沢市地域包括支援センター	1名
9月	介護現場の記録&介護記録の書き方	介護労働安定センター	1名
	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	岩手県福祉サービス適正化委員会	1名
10月	介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導	盛岡広域振興局保健福祉環境部医療介護課	1名
12月	介護保険事業者向け研修会	(株)サンメディカル	1名

【収 益 事 業】**賃貸経営****1.基本方針**

この事業から生じた収益は、この法人の行う社会福祉事業に充てるものとする。

2.事業の取り組み

令和2年度は、収益の1,000,000円を社会福祉事業へ繰入を行った

【法人福祉サービスに関する苦情解決事業】

1．苦情相談の受付状況					
年度	R2	R1	H30		
苦情相談	1	3	11		
延件数	1	3	11		
コメント：					
2．苦情相談の内容（令和2年度受付分）					
	実件数（件）	割合（％）	解決済み	検討中	備考
職員の接遇					
サービスの質や量					
説明・情報提供	1	100	1		
利用料					
被害・損害					
権利侵害					
その他					
計	1	100			
コメント：					
<p>鬆松苑： 面会が出来ない状況の中で体調不良等もっと早く伝えて欲しい。説明も不足しているし、施設内で連携を取り改善して欲しい。</p>					
3．苦情相談の対応					
	実件数（件）	割合（％）			
傾聴のみ	1	100			
申出人への助言					
専門機関・関係機関の紹介					
当事者間の話し合い解決推奨					
苦情通知					
事情調査					
その他					
計	1	100			
コメント：					
<p>鬆松苑： 苦情申し立てではないが面会出来ないご家族の立場に立ち、今後は施設内で連携をとりスムーズに対応して欲しいとの事でしたので、職員間で共有し面会できないご家族の立場に立って安心していただけるよう丁寧に説明をするように話し合いました。以後ご家族との関係は良好であり、再発防止に繋がっています。</p>					
4．事業所別					
事業所名	件数（件）	割合（％）	R元年度（件）	H30年度（件）	
ケアハウス巣子			1	1	
介護付ケアハウス巣子				1	
松実会居宅介護支援事業所			1		
訪問介護事業所					
通所介護事業所					
麗峰苑					
麗峰苑居宅介護支援事業所					

麗峰苑短期入所事業所				
繫松苑	1	100	1	5
繫松苑短期入所事業所				
小規模多機能型おはな				1
住宅型有料ピースフル滝沢				3
計	1		3	11
コメント：				

・職員数内訳

令和3年3月31日現在の職員数は次のとおりである。

事業所名	職員数(人)	再掲	再掲	男女内訳	
		臨時 (人)	パート (人)		
ケアハウス	7	3		男 2 名	女 5 名
介護付ケアハウス	18	2	2	男 5 名	女 13 名
松実会居宅	9	1		男 1 名	女 8 名
訪問介護	7		4	男 0 名	女 7 名
通所介護	5		1	男 3 名	女 2 名
麗峰苑	60	5	13	男 15 名	女 45 名
麗峰苑居宅	1			男 1 名	女 0 名
繫松苑	76	8	14	男 24 名	女 52 名
繫松苑短期	8			男 1 名	女 7 名
小規模多機能おはな	20	1	5	男 4 名	女 16 名
住宅型ピースフル	8	2	3	男 2 名	女 6 名
法人本部	4		1	男 2 名	女 2 名
計	223	20	43	男 60 名	女 163 名
前年比 (増減)	222 (+1)	15 (+5)	48 (-5)	男 67 名 (-7名)	女 155 名 (+8名)

・役員会等の承認事項

理事会及び評議員会で承認を得た事項は、次のとおりである。

(理事会)

開催年月日	議案
R2.6.1	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 業務執行理事の職務執行状況について 議案第1号 令和元年度事業報告の認定について 議案第2号 令和元年度決算の認定について 監査報告 議案第3号 諸規程の変更(案)について 議案第4号 定時評議員会開催(案)について
R2.10.12	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 業務執行理事の職務執行状況について 議案第1号 滝沢市北部地域包括支援センターの公募について
R3.2.25	報告第1号 理事長の職務執行状況について 報告第2号 専務理事の職務執行状況について 報告第3号 業務執行理事の職務執行状況について 議案第1号 評議員選任・解任委員の選任について
R3.3.26	議案第1号 令和2年度資金収支予算第1次補正(案)について 議案第2号 令和3年度事業計画(案)について 議案第3号 令和3年度資金収支予算(案)について 議案第4号 評議員候補者の推薦について 議案第5号 諸規程の変更(案)について 議案第6号 管理者の選任(案)について 議案第7号 評議員選任・解任委員会の開催(案)について

(評議員会)

開催年月日	議案
R2.6.23	報告第1号 令和元年度事業報告について 議案第1号 令和元年度決算の認定について